

# 「街へ出よう」

東北芸術工科大学日本画コースの3年生が、  
街へ出て、山形市街地・WEBで展覧会を開催！



【「仰げ！ 寫生道～短歌と日本画 Special Fusion～」(公益財団法人齋藤茂吉記念館) 出品予定作品】  
鈴木藤成《緑の夢》和紙、膠、水干、岩絵具 455mm×583mm 2021年

「荒い鼻息 学校へ急ぐ ただちに でもあそこに デカイカマキリ」  
「きょうみない 点Aの時速 いねむりし どなり怒られ ろうかへ向  
かう 泣いてない これ涙じゃない 汗ワイパー がんばれること い  
つか見つかる」(いずれも、鈴木藤成による短歌)



TOHOKU UNIVERSITY  
OF ART & DESIGN

[ご取材・お問い合わせは以下までお願いいたします]  
東北芸術工科大学芸術学部美術科日本画コース

住所：〒990-9530 山形県山形市上桜田 3-4-5  
TEL：023-627-2135 (日本画コース準備室：平日：9時～17時)  
担当：小金沢智 (東北芸術工科大学日本画コース専任講師)

## 1. 「街へ出よう」開催意図

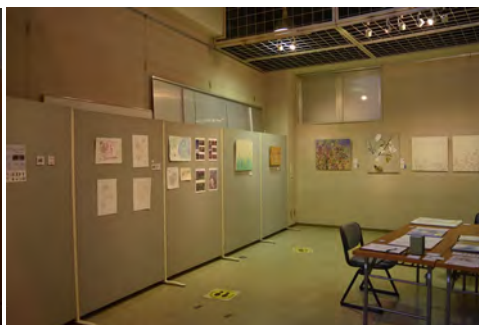
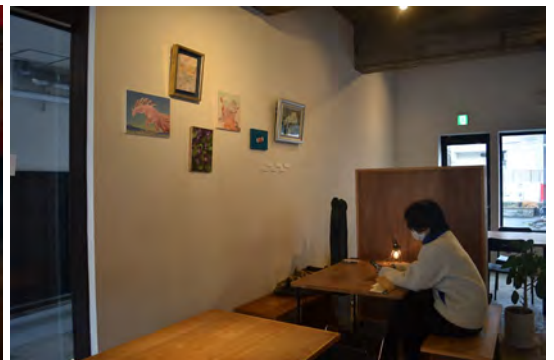
「画力と思考を積み重ね、今日の日本画を探求する」を理念とする東北芸術工科大学芸術学部美術科日本画コースでは、3年生後期に、「街へ出よう」と呼ぶ展覧会企画制作演習を行っています。これは、2年生後期に行う学内での展覧会企画制作演習から、主に山形市街地へと展覧会の場所を移し、他者との共同作業、作品のプレゼンテーションなどについてさらに実践的に学ぶことを意図として設けられている授業です。毎年30数名の学生たち全員が、「街」における展覧会のあり方・場所・テーマを考察し、企画書にまとめ、プレゼンテーションを行い、学生からの投票結果も踏まえ教員によって選抜された数企画を実際に実現します。

例年三十数名の学生から、5～6グループが選ばれ、各グループに教員がつき指導を行います。実現のため主体的に動くのは学生にほかなりません。展示会場の方々との交渉・打ち合わせ、フライヤー制作・SNSによる発信を中心とする広報活動など、作品制作だけではないさまざまな経験を、展示会場の方々をはじめ学外のさまざまな方々からのご協力もいただきながら得るのです。自身の作品と社会との関係を積極的に考察し、一人だけでは実現できないグループワークを通し、次年度4年生における卒業制作・卒業制作展に繋げてもらいたいということはもちろんですが、卒業後も自らのアイデアをどのように現代社会に対して実践・展開していくかという思考の土台にしてもらいたいと考えています。

2021年度も、ユニークな6つの企画が選抜されました。ぜひ、学生たちの展覧会を多くの方々にご覧いただきたく、広報のご協力をいただけましたら幸いです。

小金沢智（東北芸術工科大学芸術学部美術科日本画コース専任講師）

### [参考] 2020年度の「街へ出よう」



▶☒2020年度は、5つの展覧会を実施しました。左上から右回りで、「道と空のあいだ」（山形市街地）、「303号室」（緑町アパート）、「EYE CATCH」（Archigram、Day&Coffee）、「ついたてん」（山形県庁食堂）、「咲き、実り。」（山形市野草園）

## 2.実施展覧会(市街地での展覧会)



### 【「街の音」出品予定作品】

保住朱里《その音》

岩絵の具、水干絵の具、ジェッソ

727×927mm 2021年

\* 右は展示の様様



### ①「街の音展」

会期：2021年10月18日（月）～10月21日（木）12時～18時（最終日のみ15時まで）

場所：BOTA coffee 2階（〒990-0042 山形県山形市七日町2丁目7-18）

入場：無料。どなたでもお入りいただけます

出品学生：保住朱里、奥山未優、永井実優、石和田竜生（4名）

内容：山形市七日町にあるカフェBOTA coffeeを会場に、メンバーが七日町の街を巡り歩き、個々が感じた「街の音」を絵に表現し、展示します。

\* COVID-19感染症拡大防止にご協力ください。発熱・体調のすぐれない方のご入場・ご入館はお控えいただき、必ずマスクの着用、手の消毒等の対策をお願いいたします。

## 2.実施展覧会(市街地での展覧会)



6 限目 頭の中は 空 ふと窓際  
トラみきたいな空 ドロップキック雲

### 【「仰げ！寫生道～短歌と日本画 Special Fusion～」出品予定作品】

鈴木藤成《ドロップキック雲》和紙、膠、岩絵具、アクリル 335mm×455mm 2021年

\*右は鈴木藤成による短歌

### ②「仰げ！寫生道～短歌と日本画 Special Fusion～」

会期：2021年10月19日（火）～10月26日（火）9時～17時（入館受付は16時45分まで）

\*休館日：水曜日

場所：公益財団法人斎藤茂吉記念館 ラウンジ（〒999-3101 山形県上山市北町弁天1 4 2 1）

入場：入館料が必要です。一般600円、学生300円、小人100円

出品学生：結城里菜、西川夏未、鈴木藤成（3名）

内容：山形を代表する歌人・斎藤茂吉（1882-1953）の斎藤茂吉記念館を会場に、一人ひとりが日本画と短歌の制作を行い、視覚と言語の表現を融合した空間を作り上げます。

\* COVID-19感染症拡大防止にご協力ください。発熱・体調のすぐれない方のご入場・ご入館はお控えいただき、必ずマスクの着用、手の消毒等の対策をお願いいたします。

## 2.実施展覧会(市街地での展覧会)



### 【「秋の旬」出品予定作品】

藤田伊織 《いちじくレール》 岩絵具、水干絵具 333×50mm 2021年

### ③ 「秋の旬」

会期：2021年10月21日（木）～10月28日（木）11時30分～21時（最終日は14時30分まで）

\* 定休日：水曜日

場所：オステリア イルペッシェ（〒990-0057 山形県山形市宮町5丁目8-4）

入場：どなたでもお入りいただけますが、ランチ（11時30分～14時）、ディナー（17時～21時）の時間は、展覧会鑑賞のみの来店はご遠慮ください

出品学生：斎藤咲希、藤田伊織、土屋柚衣、川崎りな、河野歩花、岡本彩花、渡邊祐也（7名）

内容：イタリア料理店を会場に、旬の食材や、お店のイメージから制作した作品を展示し、訪れた人がより料理を楽しめる空間を、学生がお店と協力して作り上げます。

\* COVID-19感染症拡大防止にご協力ください。発熱・体調のすぐれない方のご入場・ご入館はお控えいただき、必ずマスクの着用、手の消毒等の対策をお願いいたします。

## 2.実施展覧会(市街地での展覧会)



### 【「希死念慮FEAT.???'」出品予定作品【制作中】】

加藤碧《承》《転》《結》(左から時計回り)

いずれも 水干絵具、岩絵具 410×410mm 2021年

### ④「希死念慮FEAT.???'」

会期：2021年10月22日(金)～10月26日(火) 10時～18時30分

場所：1F美術展示スペース

(〒990-0042 山形県山形市七日町2丁目7-10 NANA BEANS)

入場：無料。どなたでもお入りいただけます

出品学生：加藤碧、内田朋花、高階咲希、川崎愛美、宮尾花乃、工藤朱莉、石澤優奈(7名)

内容：無宗教と言いつつさまざまな思考が交差する日本で、個々の考える死生観・生命観を覗くような展覧会を開催します。

\*COVID-19感染症拡大防止にご協力ください。発熱・体調のすぐれない方のご入場・ご入館はお控えいただき、必ずマスクの着用、手の消毒等の対策をお願いいたします。

## 2.実施展覧会(市街地での展覧会)



### 【「わたしのえほん展」出品予定作品】

金澤一世《きらきら》岩絵具、水干絵具、水彩絵具、アクリル絵具 727×606mm 2021年  
\*長谷川摂子『めっきらもっきらどおんどん』（福音館書店、1990年）をテーマに制作しました

### ⑤「わたしのえほん展」

会期：2021年10月26日（火）～11月9日（火）

場所：東北芸術工科大学 こども芸術大学 認定こども園 ギャラリー  
（〒990-2421 山形県山形市上桜田3丁目4-5）

入場：無料。ただし、会場に出入りできるのは園児・保護者、東北芸術工科大学学生のみです。  
また、東北芸術工科大学学生が出入り可能な日時は以下の通りです。

【平日】 18：00～19：00、【11月3日(水・祝)】 9：00～19：00

出品学生：齋藤葉、金澤一世、大庭永琳、宮古真奈、木村夏子、佐藤玲菜、山本こころ（7名）  
内容：「自分にとっての思い出の絵本」をテーマに小作品を制作し、その題材となった絵本と並べて展示を行います。子供たちが新しい絵本や作品に触れるきっかけを作ることが狙いです。

\*COVID-19感染症拡大防止にご協力ください。発熱・体調のすぐれない方のご入場・ご入館はお控えいただき、必ずマスクの着用、手の消毒等の対策をお願いいたします。

### 3.実施展覧会(WEBでの展覧会)



**【「白の橋」出品予定作品】**

狐玉妃世莉《絵画の中》岩絵具、保健所で亡くなった愛玩動物の遺骨、箔、盛り上げ胡粉、田原白土  
910×910mm 2021年

#### ⑥「白の橋」

会期：2021年10月21日（木）～2022年1月31日（月）

場所：<http://shirono-hash.com/>

入場：どなたでもアクセスいただけます

出品学生：児玉妃世莉、江守彩夏、渡辺琳、小出俊哉、千葉惟眞、章凱帆（6名）、他

内容：保健所で死亡した動物の骨を引き取り、絵具（遺骨絵具）を制作。作品をウェブサイトで発表・販売するとともに、利益の画材代を引いた分を保護猫犬を活用しようとしている団体へ寄付することまで含めたプロジェクトです。